



校長室の窓から

座間市立東原小学校（電話253-3145）

東原小キャラクター「かめっち」

5月は、校外学習や遠足で子どもたちの笑顔や真剣な表情をたくさん見ることができました。新しい学級での友だちとの仲を一歩深めることができたのではないかと思います。

5年生は、7月初めのキャンプに向けて取り組み始めています。先日は、家庭科の調理実習でカレー作りに挑戦しました。コミスク応援隊のみなさんにお手伝いいただく中、おいしいカレーができあがりました。保護者と地域のみなさんのご支援に感謝しています。



活用の仕方・使い分けを大切に！

先日、「クロームブックの毎日の持ち帰り」について配信しました。情報社会を生きる子どもたちが端末に慣れ親しむことは必要だと思っていますが、その一方で、ご家庭での使用時間などのルール、姿勢や視力、紙の学習か端末の学習か？など不安や疑問があるのも当然です。ルールは、配付している児童向け・保護者向けルールを確認してください。

学校の中では、学習内容や場面によって学習方法の使い分けをして、学習端末を有効に活用していきたいと思っています。次のように、どちらも大切にしていきたいです。

【記述する学習】ノートやプリントに書く学習とクロームブックで入力する学習

【知る学習】調べ学習と体験学習

【調べ学習】クロームブックによる調べ学習と本・図鑑などによる調べ学習

先日、理科の授業で「より良い成長の条件」を学習していました。日光を当てたインゲンマメと当ててないものの比較では、実物を観察しました。じーっと見つめたり、触ったり、葉の数を数えたり…様々なつぶやきをしていました。気づいたことは、クロームブックで教師が用意したページに書き込みました。気付きを記入し、また気になって実物を見ることを繰り返していたことが印象的です。工夫しながらたくさんの気付きを書き込んでいました。ノートに書く方法もありますが、書くことがあまり好きではない子、ある程度書くと「もういいかな。」と思う子などは、これほどまでに書けなかったのではないかと思いました。でも、時間がかかるても、面倒に思っても、書くことは大切ですので、私たちは、いろいろな場面設定をしていくことが大切になります。また、様々な教科で「調べ学習」をしていますが、クロームブックで情報を得るだけにならないよう、内容に関する本や図鑑などを用意しています。

中庭の花壇では、自分の育てているほうせんかの水やり・観察をしていました。さらに、キャベツの葉にいるチョウの幼虫を見つけていました。手のひらにのせて、「見て見てー！」と。自然に触れる中で「葉っぱの裏にいるんだよ！」と無意識のうちに発見をしています。何でもネットで調べられる時代ですが、このような体験も大切にしたいと改めて思いました。